

ドイツの家畜豚におけるアフリカ豚熱（ASF）発生について

※下線部は更新点

- ・ 2021年7月16日（現地時間）、ドイツ食料・農業省（ドイツ当局）は、ポーランドとの国境沿いドイツ東部ブランデンブルク州において家畜豚におけるアフリカ豚熱（ASF）が2例発生した旨を公表した。7月17日、2例目から3km離れた農場において家畜豚での3例目の発生が報告され、11月15日、メクレンブルク・フォアポンメルン州の農場において家畜豚での4例目の発生が報告された。

2022年5月26日（現地時間）、ドイツ当局は、ドイツ南西部バーデン・ヴュルテンベルク州において家畜豚における5例目のASFが25日に発生した旨公表した。

- ・ 2022年7月2日（現地時間）、ドイツ当局は、ニーダーザクセン州（ドイツ北西部）及びブランデンブルク州において家畜豚における6例目及び7例目のASFが発生した旨を公表し、OIE（国際獣疫事務局）へ通報した。

- 1例目：シュプレー・ナイセ地区ナイセ＝マルセタールの有機農場
（繁殖農場、全頭ストールで飼養、313頭（幼豚169頭・母豚83頭・若齢豚58頭・種豚3頭）
- 2例目：メルキッシュ・オーダーランド地区レチーンの小規模農場
（バックヤード（肥育）、全頭屋内飼養、肥育豚2頭）
- 3例目：メルキッシュ・オーダーランド地区レチーンの小規模農場
（バックヤード（肥育）、全頭屋内飼養、肥育豚4頭）
※2例目と3例目の農場間の距離は約3km。
- 4例目：メクレンブルク・フォアポンメルン州の大規模農場
（約4,000頭飼養）
- 5例目：バーデン・ヴュルテンベルク州の有機農場（35頭飼養）
※フランスとの国境からの距離は約7km。
※周辺で野生イノシシのASF発生は確認されていない。
- 6例目：ニーダーザクセン州エムスラント地区の農場（1786頭飼養）
※ドイツ東部の発生地域から約400km離れた地域。
※周辺で野生イノシシのASF発生は確認されていない。
- 7例目：ブランデンブルク州ウッカーマルク地区の農場（1300頭飼養）

- ・ 我が国は、2020年9月の野生イノシシにおける発生を受けてドイツからの豚、豚肉等の輸入を一時停止(2020年9月11日付)しており、現在も停止中。そのため、今回の発生を受けて新たに講じる措置はないが、引き続き情報収集を継続する。

(参考リンク)

- ・ ドイツ食料・農業省プレスリリース (ドイツ語)
(1、2例目)

<https://www.bmel.de/SharedDocs/Pressemitteilungen/DE/2021/119-asp-hausschwein.html>

(3例目)

<https://www.bmel.de/SharedDocs/Pressemitteilungen/DE/2021/122-asp-hausschwein-weiterer-fall.html>

(4例目)

<https://www.bmel.de/SharedDocs/Pressemitteilungen/DE/2021/171-asp-fall-meckl-vorpomm.html>

(5例目)

<https://www.bmel.de/SharedDocs/Pressemitteilungen/DE/2022/66-asp-hausschwein.html>

(6、7例目)

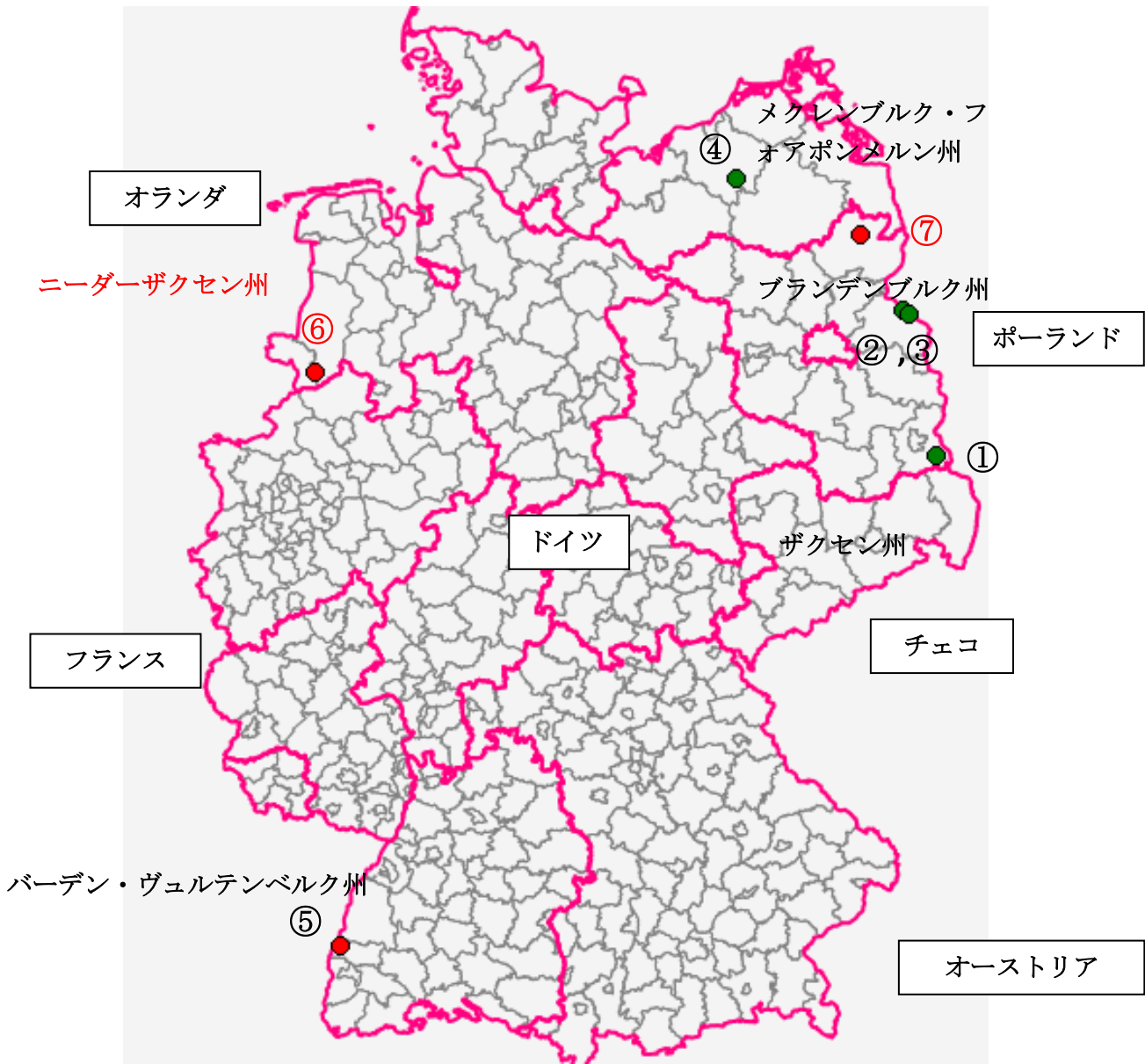
<https://www.bmel.de/SharedDocs/Pressemitteilungen/DE/2022/91-asp-hausschwein-nds-bb.html>

- ・ OIE 通報

(6例目) <https://wahis.woah.org/#/report-info?reportId=56559>

(7例目) <https://wahis.woah.org/#/report-info?reportId=56561>

発生地図



地図出典 : Tier Seuchen Information System(TSIS)